

大地の多様性そのものを対象としたジオコンサベーション Geoconservation's Dilemma: How to Value Diversity Itself for Conservation Benefits

Chakraborty Abhik^{1*}
CHAKRABORTY, Abhik^{1*}

¹ 伊豆半島ジオパーク推進協議会

¹Izu Peninsula Geopark Promotion Council

この発表では、ジオコンサベーションの重要性と社会の中でその実施面におけるチャレンジについて論じる。ジオコンサベーションとその他の自然保全フレームワークの違いは、希少種や特定の生物ハビタットを中心とする生物環境保全に対して、ジオコンサベーションは地球全体の環境の保護保全のため大地の多様性が欠かせないことである—と提唱する。このためジオコンサベーションは、より「総合的」自然保全の仕組みとして評価されている。しかし、実施面においてこのような多様性そのものの保全はきわめて難しい課題となっており、多くの参考事例からジオコンサベーションは特定の地質遺産（火山堆積物や災害の跡など）に偏っているようにも見える。本研究では伊豆半島ジオパーク、南アルプス、白山エコパークと上高地国立公園の事例を分析し、地形地質の多様性そのものを保全の対象とするメリットについて議論を提供する。

キーワード: ジオコンサベーション, 総合的保全, 多様性, 事例分析
Keywords: Geoconservation, holistic conservation, diversity, case study